

## 第13回 稲城市住所整理地区市民検討会（矢野口・東長沼・百村京王線以南地区）

実施日：令和6年7月24日（水） 午後7時00分～午後8時30分

会場：稲城市役所 6階 601・602会議室

参加数：地区市民検討委員12名（欠席7名）

事務局2名（平林係長、小出主事）

### 次第1 新しい町の名称に関するアンケートについて

委：資料のとおり実施する方向で異論はない。

### 次第2 新町名の範囲について

委：歴史的な神社であり、奉賛会としても矢野口として残してほしいとの意向である。

委：事務局が確認した地権者の意向としても、矢野口として残すという選択肢を選んだ方が多いため、矢野口として残した方が良いのではないか。

委：異論なし。

### 次第3 町割り等の検討

委：案3'（資料：スライド28）を基本とするのが良いのではないか。

確認だが、小学校とメモリアルパークは三丁目でも四丁目でも良いように感じるが、三丁目とした理由は何か。

市：施設の性質等によるゾーニングやエリアへのアクセス等を考慮し、緑地を境とするのが良いと考えた。

委：一丁目が東西に広がっており、コミュニティが異なる稲城駅前付近とリハビリテーション病院付近が一体となることに違和感がある。面積の基準はあるが、コミュニティごとに細かく丁目を区切ることはできないか。

市：あまり細かく丁目を分けてしまうと、住所のわかりやすさとしてはマイナスに働くおそれがある。一つの大字あたりの丁目数等を踏まえ、稲城市住所整理実施要領で定められたのが「一つの町区域の規模は、20～40haを目安」という基準だと認識している。

委：一丁目のエリアには南北に道路がなく区切りづらいため、既に区画整理が完了している稲城第一地区と南山東部土地区画整理事業区域の境付近の細街路で区切るのが良いのではないか。面積は減るが、人口は同規模になることが予想される。

そのような設定ができないのであれば、案3'のようにするほかない。

市：人口規模を考慮するのは良いが、稲城駅前マンションが多く、親地番等はそれほど多く必要としない実情がある。細街路についても町の境としての分かりやすさを考慮しなければならない。こうした点も踏まえ、いただいた意見について検討させていただく。

委：現在二丁目に含まれているジャイアンツタウン付近のエリアについても、商業エリア

として三丁目に含めた方が良いのではないか。

高低差が大きいため、平面で見た印象よりも、高低差を重視して区切る方が良い。

市：将来的な利用方法や緑地と一体となっていることなども考慮し、検討したい。

委：詳細箇所①（資料：スライド 30）は、地権者の意向と高低差を考慮し、一丁目に含めるのが良い。

委：詳細箇所②（資料：スライド 36）は、どちらに含めても良いとは思いますが、平面図で見たときに分かりやすい二丁目に含める案が良いと思う。

委：詳細箇所③（資料：スライド 43）は、四丁目とは高低差が大きいため、一丁目に含めるべき。

委：詳細箇所④（資料：スライド 49）については、現在造成中のためイメージが難しいが、高低差を優先し、一丁目に含めるのが良いと思う。

委：町割りについては、郵便局や行政等の公的機関が使いやすいように区切るのが良いと思う。

市：いただいたご意見をもとに、再度検討する。